

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	南部クリーンセンター
	施策	環境保全活動の推進		電話番号	087-890-2190
	基本事業	環境保全意識の啓発		事業実施主体	市
	事務事業	南部クリーンセンター環境学習事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	南部クリーンセンターの施設を活用して、ごみ処理の現状と課題を学習する機会を提供する。また、「エコホタル」の展示ギャラリーでは、環境パネルのほかに、環境に関する図書や、インターネットなどを利用して環境問題を考える機会を提供し、地球規模での温暖化対策の必要性を啓発するとともに、学習室では紙すきや工作などを実施して、楽しみながら、リサイクルを体験してもらい、参加者の環境意識の向上に寄与する。				
29年度概要	利用者数（見学者・学習室利用者等） 年3,100人 体験学習事業 親子リサイクル工作会・施設見学会等自主企画事業 年12回 施設紹介・分別収集啓発用パンフレット印刷・配付 インターネット等情報提供				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		

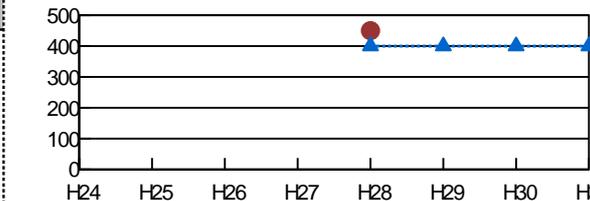
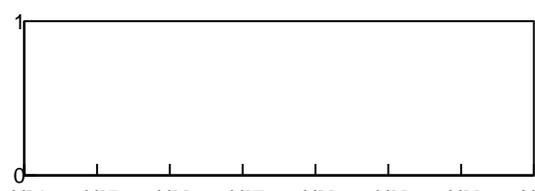
【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	ごみ問題を始めとする環境学習の場を提供して、広く市民の環境意識の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
エコホタル自主企画講座回数（見学会等を含む。）	回			12	12	12

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
エコホタル自主企画講座参加者数（見学会等を含む。）	人	目標値			400	400	400
		実績値			450		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 22、23、24年度の過去3カ年の平均人数（南部クリーンセンター利用者数3,129人、自主企画講座参加者数428人）等を参考に目標値数を、400人とし、最低ラインとしており、目標を達成している。 	500 400 300 200 100 0						(達成度) 112.5% 35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	1 0						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	7,853	9,725	8,228	8,214
（事業費）	[円]	472	2,048	377	363
（職員人件費）	[円]	7,381	7,677	7,851	7,851

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

夏休み、冬休み工作会及び親子施設見学会では、申し込みも大変多く、盛況だが、実施内容のマンネリ化など課題もあり、新たな事業内容の構築が環境保全や啓発の為に必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

南部クリーンセンター独自の環境学習事業を、NPO法人等と協働で実施して、学習活動に必要な材料などはリサイクルするという観点から、購入を最小限にする。  
また、「プラスチック容器包装の正しい出し方」のパンフレットの活用や、リサイクルされた材料からできた製品の展示の充実を図り、分別意識の啓発を推進する。